

Dynavector Systems

低出力MCカートリッジ

DV-10X5 mkII LOW



¥ 103,400 (税込)

トレードイン ¥ 82,720 (税込)

Design Concept

1978年にその最初のモデルが発売された10Xシリーズは、1978年および1981年のシカゴCES (Consumer's Electronics Show) でデザイン&エンジニアリング賞を受賞するなど海外で多くの賞を獲得し、世界中のオーディオファイルから高出力MCカートリッジの定番モデルとして認知され、常にベストセラーモデルの地位を保っています。

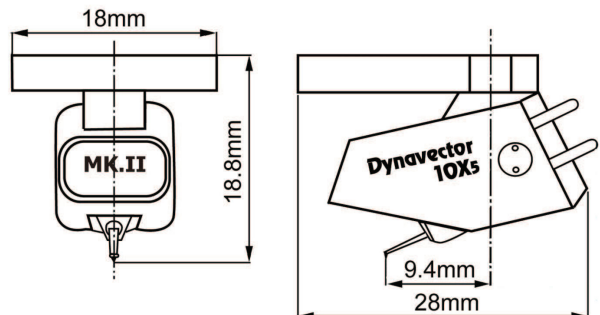
10Xシリーズの特徴である赤いボディは40年以上の製造実績を誇り、ダイナベクター・カートリッジの代表モデルとして最も大量に生産され、また世界中のオーディオファイルに最も愛用されています。

新たなエントリーモデルとして開発されたDV-10X5 mkII LOWは、ダイナベクターの特徴でもある特許技術フラックスダンパーおよびソフト化マグネットを採用しており、長年評価され続けてきたダイナベクターカートリッジの優れたサウンドを実感頂ける低出力MCカートリッジとなっています。

また、0.5mVの出力電圧はエントリークラスの昇圧トランスやヘッドアンプとの相性も良く、初めての低出力MCカートリッジとしても最適です。

New Line-Contact Stylus

カンチレバーは丈夫な硬質アルミニウムパイプを採用、スタイラスはムクダイヤモンドのシバタ針タイプIIIを採用しました。従来の楕円針に比べ、高音域における特性がさらに向上しているだけでなく、やや痛みのあるレコードに対するトレース能力も上がり、今まで以上に使用しやすい低出力MCカートリッジとなっています。



Specifications

- 出力電圧: 0.5mV ● 周波数特性: 20 - 20,000Hz (±2dB) ● チャンネルバランス: 1.0dB 以下 ● チャンネルセパレーション: 25dB 以上
- コンプライアンス: 12 mm/N ● 直流抵抗: 32 Ω ● 推奨負荷抵抗: 100Ω以上 ● スタイラス: シバタ針タイプIII
- カンチレバー: 6mm 長 硬質アルミニウムパイプ ● 針圧: 1.8 - 2.2g ● 自重: 7.5g

ダイナベクター株式会社

〒101-0031 東京都千代田区東神田3-2-7 TEL 03 (3861) 4341 FAX 03 (3862) 1650

www.dynavector.co.jp

※仕様は予告なく変更される場合があります。

20221201G0001

Dynavector Systems

ダイナベクターMCカートリッジの技術的背景

High Output MC Cartridge

DV-10X5mkIIIは、超極細線を発電コイルとして多数回巻くことにより、ヘッドアンプや昇圧トランスを必要としない2.5mVの出力電圧を確保した高出力MCカートリッジです。これは、ダイナベクターが開発した独特の巻線技術により初めて可能になるものです。

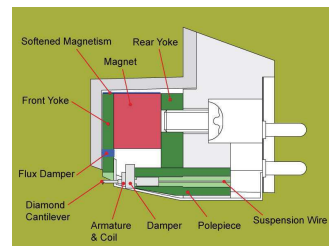
高出力MCカートリッジはヘッドアンプや昇圧トランスが不要のため、これらのデバイスによる音の影響を受けず、低出力タイプよりむしろ有利な点もあります。推奨負荷抵抗は1,000Ω以上で、通常は47KΩのアンプのMMポジションのPHONO入力端子に接続します。

Flux Damper

MCカートリッジの磁気回路のエアギャップ内でのアマチュアの動きと、それをとり囲む磁気ヨークとの間に発生する磁氣的干渉に初めて注目し、これによって生じる磁束（フラックス）変動が再生音に大きな影響を与えることを発見しました。

ダイナベクターMCカートリッジはこの磁束変動を消去するためフロントヨークにフラックスダンパー（特許取得）を設けています。

このため、従来のMCカートリッジにくらべ磁束変動が大幅に緩和されており、全帯域に亘りスムーズ且つより色付けのない自然な再生音を実現しています。



Softened Magnetism

近年のカートリッジでは出力電圧を高めるためサマリウムコバルト磁石やネオジウムボロン磁石等の高エネルギー希土類磁石が採用されています。しかしこのような磁石の採用はMCカートリッジの出力向上には意味がありますが、磁気抵抗は極めて高いため（低リコイル透磁率）、微小な磁束変動によってもカートリッジのエアギャップの磁場は影響を受けます。

すなわちMCカートリッジの混変調の原因となり、カンチレバー、カートリッジボディ等が良く出来たものでもその再生音には常に自然の音には存在しないある種のウルササ（ハーシュネス）がつきまといます。

これがよくいわれるカラーレーションの主なものです。

最新のネオジウムボロン磁石を採用したダイナベクターMCカートリッジでは独特な方法でこの内部磁気抵抗を減らしています。

このため従来のMCカートリッジに比べエアギャップ内の磁束の安定化は著しく向上しています。

このように磁気回路と振動系の干渉の問題を理論的、実験的に解決したダイナベクターMCカートリッジではエアギャップ内生じる磁束変動を常に極小に保つことができ、その再生音はあらゆる複雑な音楽のパスセージにおいてもあくまで自然かつスムーズで、ウルササは全くなく豊かな音楽性が得られています。



ダイナベクター株式会社

〒101-0031 東京都千代田区東神田3-2-7 TEL 03 (3861) 4341 FAX 03 (3862) 1650

www.dynavector.co.jp

※仕様は予告なく変更される場合があります。

20221201G0001